

# 第 1 分 科 会

## ママ・パパしゃべり場

—世代間で話し合ってみよう育児体験—

助言者 堂口 照子（公立保育園園長）

司会 高野 光代

記録 小椋 佳恵



## 第一分科会

助言者 堂口 輝子 第一保育園 園長  
司 会 高野 光代  
記 録 小椋 佳恵

保育園に子供を預けている母親、保育士、サークルサポーター等、女性ばかりの参加でした。助言者等の係を含め6名しかいないなか、いろいろな意見が出されました。

### ◎参加者

- ・小2（女兒）、4才児（男児）の母親
- ・3才児（男児）、1才児（女兒）の母親
- ・3年目の保育士
- ・1年目の保育士
- ・子育てサークルサポーター。毎年参加している

### ◎参加者全員の悩みや意見

- ・下の子は自分の気持ちが言葉で伝えられない分、ひっかきやかみつきなどが多い。また「今日、保育園休み？」と毎朝聞いてくる。「友達いないから保育園行きたくない」「お腹痛いから行きたくない」と言うこともあるので心配。お迎え時は「まだ帰りたくない！」となかなか帰れないこともある。本人の話とノートの内容が食い違うことが多いので、どのような生活をしているのか、よくわからなくなることがある。
- ・「〇〇にいじめられる」などと言うことがある。どこまで信じてよいのかわからない。
- ・保育士。お母さん方と話すのに緊張してしまう。信頼関係をつくるのに苦労している。
- ・保育士。園の行事を知り、一生懸命過ごしているという状態。子供に対しては「ほめる」ようにしている。最近は「叱り方が下手だなあ」と思うようになった。
- ・最近の親の「子供への目の掛け方」が気になる。親どおしのおしゃべりに夢中で、子供から目を離している親がとても多く感じる。けして子供から目を離してはいけない。
- ・子供が安心して遊べる公園や児童センターなどが少ない。もっと増やしてほしい。
- ・外遊びよりゲームなどを行っている子供が増えているように思う。何人か集まってもそれぞれがゲーム機を持っている状態。不健康。
- ・読み聞かせは、子供の想像力や集中力を増すのに効果的。小学生になっても続けていくべき。

- ・他市の図書館には勉強スペースがあるのに、新座市図書館にはない。高学年・中学生・高校生と年齢が上がるにつれ図書館を利用することが増えていくのに、環境が整っていないため、子供たちの居場所もない。落ち着いて本を読むスペースもない。
- ・懇談会に参加しない親が多い。子供の顔と親の顔が結びつかない。情報交換の場でもあるので参加すべき。
- ・「個人情報」という言葉に敏感になりすぎているのでは？園名簿もなくなってしまい、他クラスのお母さんや先生と連絡をとるのにとても苦労した経験がある。
- ・公立保育園を民営化する動きがあるらしいが、詳しい説明が一切ない。公立保育園に預けている親としてはとても不安に感じている。

#### ◎市への要望

1. 全ての子供が豊かな環境の中で育っていけるよう、市として支援してください。また、公立保育園の行く末について、情報開示してください。
2. 子供たちが安心して思い切り遊べるような施設（公園や児童センターなど）を増やしてください。
3. 今ある施設の環境改善（図書館に勉強スペースやフリースペースを確保するなど）を図ってください。